

和歌山大学  
学術情報センター  
図書館年報

---

2018/2019

---

# 目次

## TOPICS

大学史資料室の設置	1
ベーカリーカフェ OPEN	1
1. 知の共有：＜蔵書＞を超えた知識や情報の共有	
(1) 教育研究成果の発信、オープン化と保存	2
(2) 出版された資料の整備と利用	2
(3) 知識や情報の発見可能性の向上	3
2. 知の創出：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供	
(1) 知を創出する場の拡大・整備・提供	4
(2) 社会に開かれた知の創出・共有空間の提供	4
3. 新しい人材：知の共有・創出のための＜人材＞の構築	
(1) 新たな人材の参画	6
(2) 国立大学図書館職員の資質向上	6
4. その他の活動	
(1) 学修支援	10
(2) 催し	12
(3) 古本募金	12
見学・来訪者	12
統計	13

※今回から、「国立大学図書館協会ビジョン 2020」で設定された3つの重点領域とそれぞれにおける戦略的な目標に基づく記載に変更した。

## 大学史資料室の設置

図書館の下に大学史資料室を設置し、これまでに収集・整理した本学の歴史に関する資料の目録及び関係規則を公開しました（2018.10）。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/archives/>

和歌山大学は、和歌山師範学校、和歌山青年師範学校、および和歌山高等商業学校をルーツとする和歌山経済専門学校を包括し、1949（昭和 24）年に新制大学として発足しました。このような大学の歴史にかかわる資料を収集する作業をおこなうため、2012（平成 24）年、自校史等資料保存活用作業部会が設けられ、資料収集、整理に着手してきており、これらの活動を引き継ぎ、大学史資料室を設置したものです。資料室は、本学の歴史に関する資料の適切な管理を行うことにより、本学の円滑な管理運営に資するとともに、教育、研究及び社会貢献に寄与することを目的としています。

資料室には常勤職員を置かず、資料室長は図書館長が兼任します。資料室担当教員として学内から 1 名を指名した他、資料室会議を置き、資料の収集等に関する事項を審議することとしています。

## 大学史資料室の事業

1. 資料の収集，整理及び保存に関する業務
2. 資料の利用，展示及び公開に関する業務
3. 資料のアーカイブ構築に関する業務
4. 資料の調査研究に関する業務
5. 記念誌の刊行に関する業務
6. その他資料室の目的を達成するために必要な業務



和歌山大学祭パンフレット

## ベーカリーカフェ OPEN

図書館 1 階（ゲート外）に、Bakery Cafe & NEW DAILY STORE がオープンしました（2019.3.6）。交流スペースが設けられており、地域住民等との交流や研究成果発信の場として期待されます。

・ 10/1 募集開始、10/11 見学説明会、11/16 事業者決定、12/11 契約、2/8 工事開始



# 1. 知の共有：＜蔵書＞を超えた知識や情報の共有

## (1) 教育成果の発信、オープン化と保存

リポジトリシステムを更新（EarmasVer.3）し、機能の充実とデザインのリニューアルを行いました（2018.3）。

<http://repository.center.wakayama-u.ac.jp/>



- リポジトリの登録件数：2017年3月末2,717件、2018年3月末3,033件、2019年3月末3,433件
- デジタルオブジェクト識別子（DOI）付与を継続（2016.10～）

## (2) 出版された資料の整備と利用

「図書館資料収集方針」「図書館学生用図書選定基準」「学生用図書整備5ヵ年計画（2017-2021）」に基づき、学生用図書の整備を進めています。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/about/policy.html>

また、学生アンケートで要望の多かった小説について、文庫本を中心に拡充しました。

### ■ 大学史展示室

ホームカミングデーにおいて、「まなびやとまつり」をテーマに、和大祭パンフレットや「和歌山大学新聞」の説明パネル、写真等を展示しました（2018.10.27）。

ホームページにおいて目録の一部を公開しました（2018.11）。



# 1. 知の共有：＜蔵書＞を超えた知識や情報の共有

## (3) 知識や情報の発見可能性の向上

本学が所蔵する貴重資料が最大限に活用されるよう、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス (CC BY-SA) での提供を基本とする「デジタルアーカイブの利用条件表示に関する取扱い要項」を制定しました (2018.12)。

国文学研究資料館と「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画におけるデータベース構築に関する覚書」を交わし、本学で図書館振興財団の助成 (2015-2017) を受けデジタル化した貴重資料「紀州藩文庫」85点及び絵図6点のWeb公開を進めることになりました (2019.2)。

ラーニング・アドバイザー大学院生スタッフが図書館ツアー動画を制作し、図書館ウェブサイト及び学内デジタルサイネージで公開しました (2018.5)。

[https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/support/la\\_learning\\_advisers.html](https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/support/la_learning_advisers.html)



図書館システムを更新し、OPAC について下記のような機能強化等を実現しました (2018.9)。

- ・ 検索キーワードでジャパンレッジ (辞書データベース) を同時に検索
- ・ 検索結果一覧画面に配架場所、請求記号などの所蔵情報を表示
- ・ 書影の表示
- ・ 文献管理ツール「EndNote Basic」や「Mendeley」に対応した文献情報出力機能
- ・ 「類似資料」や「この資料を借りた人はこんな資料も借りています」を表示
- ・ 「シラバス掲載図書」や「教員推薦図書」とその推薦コメントを表示

また、図書館ウェブサイト更新ガイドラインを策定し、サイトをリニューアルしました。あわせて常時 SSL 化 (https 化) に対応し、セキュリティを強化しました。(2019.1)。

## 2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供

### (1) 知を創出する場の拡大・整備・提供

学修支援環境の改善を目的として、図書館設備の整備計画を策定し（2018.12）、サイレントゾーン（パソコン、電卓等音の出る機器の使用を禁止し、静かな環境で学習できるエリア）を図書館2階（西側の自習室及び閲覧室）に設置しました（2019.10）。3月には、BYOD（Bring Your Own Device）により館内デスクトップPCが撤去されたこと、また新着雑誌の配架を見直したことにより、ラーニング・コモンスを拡大し、常設のプレゼンスペースや窓際カウンター席を新設しました。



和歌山県木造木質化支援事業の助成を得て、紀州材の窓際カウンターを設置しました。

### (2) 社会に開かれた知の創出・共有空間の提供

#### 和歌山大学図書館フォーラム「自分たちの図書館をつくる」

学校図書館、公共図書館及び海外の図書館の先進的な事例に関する講演、報告を行い、県内の図書館関係者43名が参加しました。

日時：2018年6月20日（水）13：00～16：00

場所：和歌山大学図書館マルチルーム1

基調講演「生徒がつくる、司書がはぐくむ学校図書館」

成田康子氏（北海道・札幌南高等学校司書）

報告「公共と学校の一体的運営を目指して」

杉本和子氏（和歌山県・有田川町地域交流センター）

報告「アメリカ・ポートランドの図書館とまちづくり」

渡部幹雄 和歌山大学学術情報センター図書館長



## 2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供

### ■ 和歌山地域図書館協議会

図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山地域の大学、短期大学、高等専門学校図書館及び和歌山県立図書館をもって、和歌山地域図書館協議会を組織しています。

#### ◇平成 30 年度（第 24 回会議）

日時：5月9日（水）13：25～14：10

会場：和歌山工業高等専門学校「本館会議室」

議題：フォーラムの開催について、企画展について

#### ◇蔵書情報の提供

和歌山大学で県内の蔵書情報の横断検索システムを運用してきましたが、システム老朽化により継続が困難となったため、2月28日でサービスを終了しました。現在は、和歌山県立図書館が横断検索システムを提供しています。

#### ◇催し

#### 【2018 年和歌山地域図書館協議会フォーラム（共催）】

日時：11月17日（土）14：00～16：00

場所：和歌山信愛女子短期大学セシリアホール

主催：和歌山信愛女子短期大学（第44回公開講座）

講師：伊藤宏氏（和歌山信愛女子短期大学生活文化学科教授）

内容：「ゴジラと原子力～映画に描かれた原水爆と原発～」



#### 【企画展 和歌山のシンボル 和歌山城～焼失から再建まで～】

和歌山市内の博物館等で開催された和歌山城天守閣再建60周年記念関連展示にあわせ、各館所蔵資料の展示等を行いました。

期間：7月14日（土）～8月26日（日）

場所：各加盟館



### ■ 県内図書館の支援

#### ◇委員等（図書館長）

和歌山県立図書館協議会、和歌山県立近代美術館協議会、那智勝浦町図書館協議会

#### ◇講演等（図書館長）

4月17、23日 橋本市図書館職員等研修会

5月19日 第25回橋本市図書館講座

7月27日 串本町研修会「読書活動を推進していくためには」

8月9日 第21回近畿学校図書館夏季セミナー和歌山大会（特別分科会）

9月19日 紀の川市社会教育委員会議研修会

11月18日 和歌山県立近代美術館講演

2月10日 第5回子どもの読書活動リレーフォーラム in なちかつうら

### 3. 新しい人材：知の共有・創出のための<人材>の構築

#### (1) 新たな人材の参画

##### ■ 学生サポーター

学生サポーターは、ボランティアで図書館の仕事をする学生の集まりです（2015.4～）。2018（平成30年度）は、19名のサポーターが活動を行いました。

##### ◇活動内容

図書館の利用案内・環境整備、返本・書架整理作業（月1回）、ミーティング（月1回）

##### ◇新入生歓迎企画展示「付度はじめました」



##### ◇オープンキャンパス 図書館ツアー

オープンキャンパス開催にあわせ図書館ツアーを行いました。



##### ◇選書ツアー&企画展示「ワダイの奇妙な選書ツアー【読書の旋風】」

11月3日（土）、ジュンク堂難波店にて選書ツアーを行い、学生の視点で利用者にすすめたい本を選びました。選書した本にはPOPをつけて、1月22日（火）から展示しました。





### 3. 新しい人材：知の共有・創出のための<人材>の構築

#### ■ラーニング・アドバイザー（LA）

大学院生スタッフによる学習相談を引き続き実施しました（2015.10～）。相談件数は前年度から22%増加しています。引き続きパスファインダーの作成に取り組んだほか、各自でテーマを決めラーニング・コモンズでミニ講習会を開催しました。

#### ◇相談対応

実施期間：2018年4月～2019年2月

スタッフ：8名

教育学研究科3名（M1：2名、M2：1名）

経済学研究科1名（M2）

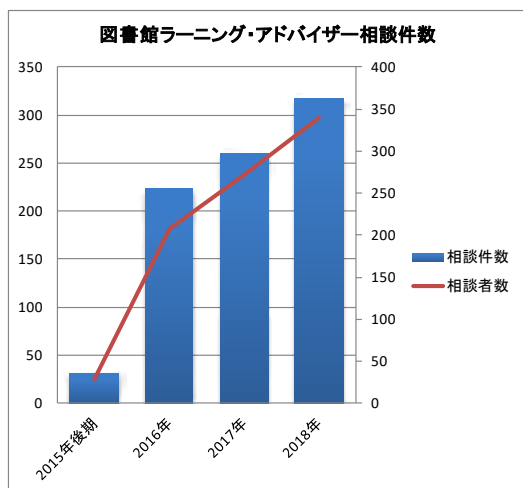
システム工学研究科3名（M1：1名、M2：2名）

観光学研究科1名（M2）



	4月	5月	6月	7月	8月	前期計	10月	11月	12月	1月	2月	後期計	合計
レポートの書き方	2	7	3	7	0	19	0	0	1	4	0	5	24
資料の探し方	2	2	3	6	1	14	3	4	5	2	0	14	28
館内資料の場所案内	3	3	5	3	0	14	3	2	6	1	0	12	26
PCやプリンタの操作方法	45	39	34	22	1	141	17	11	9	5	2	44	185
学習上の問題	11	8	2	3	1	25	2	3	1	3	0	9	34
その他	6	4	3	0	0	13	0	1	2	3	1	7	20
<b>合計</b>	<b>69</b>	<b>63</b>	<b>50</b>	<b>41</b>	<b>3</b>	<b>226</b>	<b>25</b>	<b>21</b>	<b>24</b>	<b>18</b>	<b>3</b>	<b>91</b>	<b>317件</b>

相談人数（人）	84	68	51	43	3	249	25	22	23	18	3	91	340人
---------	----	----	----	----	---	-----	----	----	----	----	---	----	------



#### ◇パスファインダー

今年度は4つのパスファインダーを作成しました。

1. ロボットを知る
2. 英語学習の手引き
3. 教員採用試験の勉強の仕方
4. 労働法

現在、14テーマのパスファインダーが公開されています。



### 3. 新しい人材：知の共有・創出のための<人材>の構築

#### ◇ LA ミニ講習会

- 11月20日（火）「紀美野においなーよ！」
- 12月5日（水）「正しいメール 書けてますか？」
- 12月12日（水）「和大学生が入学してから卒業するまでの税金の話」
- 12月19日（水）「初心者向け EXCEL 講座」



#### ◇ ビブリオバトル



2年目の開催となったビブリオバトルは、LAだけでなく、教員、学部生、学外の方と、多彩な顔ぶれがそろい、昼休みに3回にわたって開催しました。

- 6月26日 チャンプ本『考えなしの行動?』ジェーン・フルトン・スーリ, IDEO
- 6月27日 チャンプ本『僕は君たちに武器を配りたい』瀧本哲史
- 6月29日 チャンプ本『この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた』ルイス・ダートネル

#### ◇ LA 展示

LAがおすすめする本を選んでもらい、展示を行いました。おすすめコメントのPOPもあわせて展示しました。



### 3. 新しい人材：知の共有・創出のための<人材>の構築

#### (2) 国立大学図書館職員の資質向上

職員が企画、講師を担当した館内研修を4回実施し、各テーマに関する最新の情報、スキルを共有しました（講師：三木保孝・整理係長）。

- ・6月19日「図書館システムを知る」

図書館システムのしくみ（とりわけデータベースやテーブルについて）、図書館システムとその周辺の最近のトピックについて

- ・8月27日「電子資料を知る～利用者サービス提供の観点から～」

電子資料（電子ジャーナル・電子ブック・データベース）の基本的な知識について

- ・9月28日「オープンアクセスとリポジトリを知る」

オープンアクセス、オープンサイエンスといった学術情報流通の動向についての基本的な知識とリポジトリの実情について

- ・3月5日「NACSIS-CATの今後」

目録業務の実情と2020年度以降のNACSIS-CAT「CAT2020」の紹介

平成30年度国立大学協会近畿地区支部研修及び平成30年度和歌山大学SD研修として7/29～31に開催された「アサーティブコミュニケーション研修」に図書館から職員9名が参加し、サービス向上の基本となるコミュニケーション能力の向上を図りました。

その他、下記研修に職員が参加し、国内外の動向を知るとともに、日常業務における幅広い知識・知見を得ることができました。

- ・平成30年度大学図書館近畿イニシアティブ基礎研修「初任者研修」

- ・JPCOARスキーマ説明会

- ・平成30年度国立大学図書館協会シンポジウム「大学図書館デジタルアーカイブの活用に向けて」

・平成30年度国立大学図書館協会近畿地区助成事業講演会「オープンサイエンス時代の大学図書館—これから求められる人材とは—」

## 4. その他の活動

### (1) 学修支援

#### ■ 新入生図書館ツアー（授業向け）

新入生向けに、図書館職員が館内を案内しながら、館内資料の配置、資料の探し方の概要、設備の利用などを説明しました。観光学部については全ての新入生に対して実施し、その他の学部については、教員からの申込みにより実施しました。システム工学部の参加者が昨年度より増加しています。

#### 【前期】（1）

- ・実施日：4月10日（月）～5月9日（水）
- ・時 間：30分程度
- ・実施数：57グループ（464名）

#### （2）

- ・実施日：6月14日（木）2限
- ・対 象：経済学部2年生5名
- ・内 容：法学関係の図書・事典類・雑誌の案内ツアー



#### ■ ガイダンス（授業向け）

教員からの申込により、授業1コマを担当し、ガイダンスを全4回実施しました。(1)は、1コマ90分のうち、先に2-30分の図書館ツアーの後、下記のガイダンスを行いました。

担当：情報サービス係 八幡圭子（前期）、  
森石みどり（後期）

場所：(1)(2)(4) 学術情報センター演習室、  
(3) 図書館マルチルーム2



(1) 4月24日（火）5限 「基礎演習Ⅰ」

対象：経済学部の1年生15名

内容：信頼できる情報を収集する意義の解説  
情報源（資料）の種類と使い分け  
情報検索に有用なサイト、データベース  
のリンク集の作成、配布

(2) 4月26日（木）3限 「専門演習Ⅰ」

対象：教育学部の3年生、大学院生、専攻科  
学生7名

内容：(1)の内容と同じ

(3) 5月16日（水）3限 「専門演習Ⅰ」

対象：教育学部の3年生、大学院生6名

内容：(1)と同じ内容に加え、情報検索の演習  
問題と解説。

(4) 11月28日（水）2限 「観光調査法A」

対象：観光学部の1年生～3年生17名

内容：学内資料の探し方と演習  
資料の入手方法  
テーマから資料の探し方  
文献検索DB、新聞DB紹介と演習

## 4. その他の活動

### 講習会

#### ◇「レポート&論文作成応援講座」

- ①イチから分かるレポートの書き方 ※学部1・2年生対象

講師：藤本則子（本学特任教授・経済研究所）、八幡圭子（図書館職員）

日時：5月16日（水）4限

参加：19名

- ②データベースを使ってみよう～ジャパンナレッジ活用法

講師：桑原博文（株式会社ネットアドバンス）

日時：5月23日（水）4限

参加：3名

- ③イチから分かる文献情報の探し方

講師：三木保孝（図書館職員）

日時：5月30日（水）4限

参加：14名

- ④新聞の調べ方

講師：朝日新聞社担当者

日時：6月13日（水）4限

参加：3名

- ⑤法律情報の調べ方

講師：TKC ローライブラリー担当者

日時：6月14日（木）4限

参加：2名

- ⑥英語論文投稿講座

講師：クラリベイト・アナリティクス社担当者

日時：7月5日（木）3限

参加：29名

#### ◇「アナウンサーが教える 緊張を伝えるチカラに変える話し方」

講師：むかいさとこ

日時：5月17日（木）3限

参加：45名

授業の発表や就職活動に役立てるよう、初めての話し方講座を開催しました。緊張をほぐす動きを体感しながら、本番での心と体の持っていく方を教えてもらいました。



## 4. その他の活動

### (2) 催し

#### 蔵書リユース市

日時：6月8日（金）

内容：約 10,000 冊（各分野の学術書）

#### 第 13 回ライブラリーコンサート

日時：1月10日（木）12：30～13：00

演奏者：芦原朋花・三好里依

（教育学部音楽専攻3回生）

#### 展示・講座「11月は絵本の月」

講座「絵本に描かれた美味しいもの」

日時：11月28日（水）16：30～17：00

場所 図書館1階リフレッシュルーム

紹介者：藤井亜希子（図書館職員）

展示「美味しい絵本」11月6日（火）～29日（木）

※和歌山県立図書館より借受

#### 渡部幹雄館長退職記念講演会

「図書館の真の発展を目指して」

日時：3月18日（月）15：00～16：30

場所：マルチルーム1



### (3) 古本募金

学生図書の充実に役立てるため、2018年1月に古本募金を開始しました。2018年度の実績は下記の通りです。収益により学生用図書を購入しました。

152,813 円（古本募金箱及び直接申込 6 名）

## 見学・来訪者

5月25日（金） 経済学部 16 期会同期会

6月15日（金） 吉林省白城毓才実験学校（31名）

7月10日（火） 中国山東師範大学（90名）

8月7日（火） 和歌山県立紀南図書館長

9月3日（月） 串本町教育委員会（4名）

11月15日（木） 山東省済南市档案局（4名）

11月29日（木） 和歌山県議会議員他（4名）

11月27日（火） 中国東北大学生（11名）

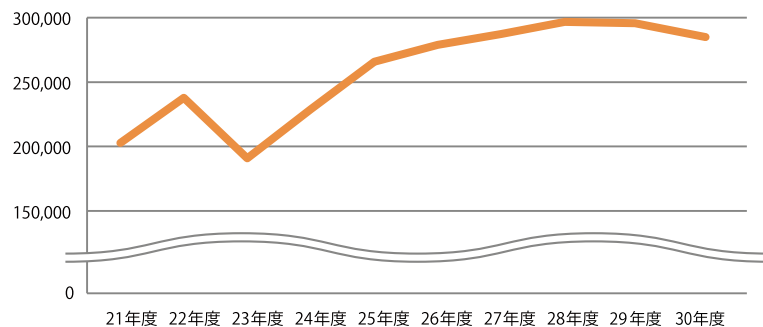
2月15日（金） 宮崎大学附属図書館（1名）



## 統計 2015-2018（平成 28-30 年度）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間開館日数	合計	273	274	271
利用対象者数	学生	4,689	4,692	4,546
	教職員	898	888	888
	合計	5,587	5,580	5,434
入館者数	学生・教職員	295,694	293,953	278,505
	学外者	1,835	2,184	2,250
	合計	297,529	296,137	280,755
貸出冊数	学生	30,384	30,236	30,776
	教職員	4,769	5,484	5,393
	学外者	1,900	1,993	1,939
	合計	37,053	37,713	38,108
蔵書冊数	和漢書	524,399	517,970	512,520
	洋書	202,806	203,147	203,548
	合計	727,205	721,117	716,068
図書受入冊数	和漢書	4,915	5,770	6,730
	洋書	630	623	469
	合計	5,545	6,393	7,199
雑誌所蔵種数	和雑誌	4,907	4,839	4,850
	洋雑誌	2,276	2,278	2,281
	合計	7,183	7,117	7,131
雑誌受入種数	和雑誌	780	825	796
	洋雑誌	67	66	33
	合計	847	891	829
文献複写件数	受付	803	616	700
	国内依頼	1,467	902	769
	海外依頼	3	1	1
現物貸借件数	貸出	477	306	361
	借受	243	143	190

### 入館者数の推移





## 和歌山大学図書館年報 2018 / 2019

2019（令和元年）5月発行

発行／和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930 番地 TEL 073-457-7915